

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キャロットスクール柏西口教室		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者への声掛け、相談のしやすさ	日頃から保護者と連絡をとり、送迎の際はその日の出来事を伝え、いつでも相談しやすい環境を作っている。	送迎のない利用者には顔を合わせる機会が少なくなるため、希望があれば面談や電話などで話す機会を積極的に設けていきたい。
2	利用者の気持ちに寄り添い、一人ひとりに合った療育内容を提供していること	感情表現が難しい利用者には文章などで気持ちを書き出してもらったりなど、利用者と向き合う機会を設けている。	慎重に利用者の様子を見ているが、気づけない点も出てくるため、職員同士でも日々共有をし、改善していきたい。
3	利用者の満足度、充実度が高い	利用者が楽しく通所できるような雰囲気づくり、その子にあった遊びなどを行っている。	苦手な利用者たちにも、教室に入るのを楽しみに思ってもらえるような活動内容、声掛けを行ってきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブなど、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	事業所としての時間の確保や調整が困難	保護者に告知を行い、事業所としても時間の調整を行ってきたい
2	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催があまり行われていない。	ニーズが少ないため、実施をしていなかった	保護者の要望に応じて適宜連携をとり、開催を計画していきたい
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キャロットスクール柏西口教室

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 40

回収数 16

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1			教室も広いので学習しやすい環境だと思います。	各部屋やスペースの使い方を工夫し、今後も事故などが起きぬよう安全に配慮した活動が実施できるよう努めて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16				1対1で学習していただけるので、本人も気が散ることなく学習できていると感じます。	法令上の配置基準を満たしておりますし、子どもに常に目を向けられるような状態を作っております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16				学習するための机が配置されているのでここでは勉強するということがわかりやすいと思います。	学習の意識が向くように余裕をもって机を配置しています。何か要望があれば検討いたしますので、お気軽にご相談ください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2		1	何かでき、できないかを見極めながら学習を進めていただいています。できないところは次回ちゃんと復習してできるようになってから次へ進んでいただいています。	引き続き、丁寧な学習支援を心掛けていきます。一人ひとりに合った学習支援を行って参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	5	5		
保護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	1	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13	2	1		毎回連絡帳にて何をどうだったかをフィードバックしていただけるので学習のできる、できないがわかりやすいです。できなかったところは家でも復習できるので助かります。	連絡帳では日々の様子を記載しているので、今後も引き続き行って参ります。その他、送迎の際などでもお気軽にご相談ください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1				

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	3	7	保護者同士の交流はないかと思います。	ニーズが少ないため、実施をしておりますでしたが、今後検討して参ります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	5				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2		7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2		1	・友達との交流をとても楽しみにしています。 ・毎回元氣よく行ってきます！と言って出かけていきます。ずっと勉強だけではなく一息つけるプログラムもあるので楽しく通っています。	今後も子どもたち同士の交流を手伝えるような声かけや活動を意識して取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1		1	・ピアノ教室で好きな曲を披露するほど、自信をもって来て嬉しく思います。 ・毎回丁寧に学習支援をさせていただいてうろと感じます。	子どもたちが楽しく学び、レッスンできるよう今後も努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キャロットスクール柏西口教室				公表日	令和7年 3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		十分なスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		床や柱をマット等で保護し安全な支援に努めています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の清掃、消毒等を欠かさないように心掛けています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎月職員会議を行い、情報の共有、改善点の話し合いをしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		現在のところ、第三者による外部評価は実施していませんが、必要性を検討した上で、今後体制を整えていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修に参加する等、支援の質を高めるよう努めています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者との面談で、じっくり話を聞き、保護者と生徒の気持ちに寄り添い、今後の療育方針などを考えています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		風通しのいい職場を心掛け、常に情報共有できるような関係を作っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		一人ひとりの状況や環境に応じて、療育内容を考え、全体で話し合い、支援計画の作成、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の療育内容を記録し、職員で共有し合い改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			4つの基準活動のうち、地域交流の機会の提供について今後検討していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			卒業後、事業所へ移行した事例は現在までのところありませんが、情報提供等の求めがあれば、積極的に行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後、必要があれば検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			今後、必要があれば検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用者の送迎の際に当日の様子、これからの課題などを話し、利用者からも不安な点があれば随時相談できる環境をとっている。利用日でない場合もメールや電話で相談を受け付けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			現在、ペアトレの保護者向け研修は行っていませんが、日々の送迎時に今後の力行く内容について等、アドバイスを伝えられるように意識している。ペアトレの保護者向け研修は今後検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に詳しく説明をしています。また、不明点があれば質問を随時受け付けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		メールや電話などでいつでも相談できる状況にしています。ささやかな内容でも保護者や利用者に寄り添った対応を心掛けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		教室のお便りなどで定期的に発信を行い、HPやSNSでも活動内容を掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		話すのが難しい子どもには、ジェスチャーや文字で起こすことで工夫しています。保護者からの連絡帳の要望にも日々目を通し、希望に沿うよう努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			今後、保護者からの要望があれば検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会の設置、規程類の整備、研修の実施をしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会の設置、規程類の整備、研修の実施をしています。		